



MDP

2023



明治安田生命 J1 LEAGUE

2023明治安田生命J1リーグ第6節

@駅前不動産スタジアム

MATCHDAY PROGRAM
サガン鳥栖オフィシャルマッチデープログラム

2023 Season | VOL.06

04.01 [SAT]

15:00 KICK OFF
VS FC東京



© F.C. TOKYO

MF 5 So KAWAHARA

成長を求めて。
自らを信じ
選ん

昨年、J2を躍動感あふれる魅力的なサッカーで注目を集めたロアッソ熊本。その中心にいたのが河原創だった。J2ナンバーワンボランチと評されるまでに成長した河原の下には数多くのオファーが届いたが、選んだのはサガン鳥栖だった。なぜ、鳥栖だったのか。その理由は明確だった。「自分が一番、成長できる環境だと思ったから」。3年間プレーした熊本と同様に走力とボールポゼッションをベースにアグレッシブなスタイルでサポーターを魅了するスタイルにはどこかシンパシーを感じていた。自身にとって初めての挑戦となるJ1の舞台。これまで築き上げてきた自分自身のベースを生かすことができるのは成長のために魅力的な環境だった。「自分の良さをしっかり出せればいいですし、うまくいかないことのほうがもしかしたら多いかもしれない。ただ、それを自分の成長につなげることができればいい」。開幕前、J1という高い壁を覚悟していたが、困難を乗り越えることで成長する。河原は鳥栖での挑戦を楽しみにしていた。

開幕戦からスタメンの座をつかむと、ここまでリーグ戦すべての試合にフル出場。そして、すべての試合でチームトップの走行距離を記録。プロ1年目だった熊本での20年のJ3第3節から続く連続フルタイム出場記録を鳥栖でも伸ばし、鉄人ぶりを見せている。それでも、高い壁を求めていた河原に満足する様子は見られない。「走れてはいますけど、もっと出力を出すところが足りない。あとは本当にボールを奪うところが課題。見ている方々からすれば、『やっているな』と思ってもらえているかもしれませんが、自分的にはまだまだです。ただ、走るだけでなくそこにどれだけ力強さを宿することができるか。自らがゴール前に入っていき力強さ。個の能力が高いJ1の選手たちからボールを奪い切る力強さ。つなぎ役に終始するのではなく、自らも得点を奪う。「それは自分の課題の一つだし、『前』というのは意識している」。熊本で築き上げた自分を鳥栖でさらに大きくするために、河原は前だけを見据えている。